

注意

前年度の入試情報となります。
新しい情報は随時公開いたします。



**RYUKOKU
UNIVERSITY**

入試部 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL: 0570-017887 (ナビダイヤル) FAX: 075-645-4155
<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/>

You, Unlimited

龍谷大学大学院

実践真宗学研究科

Graduate School of

**Practical
Shin Buddhist Studies**

2025



**RYUKOKU
UNIVERSITY**



実践真宗学研究科

Graduate School of Practical Shin Buddhist Studies

1. 理論研究と臨床実習を統合した総合的・融合的研究の推進

宗教実践と社会実践に関連する多様な学問分野についての理論研究と、受講者のニーズに合わせてカスタマイズした臨床実習のプログラムを統合した、総合的・融合的研究を推進します。

2. 宗教実践分野と社会実践分野の両面からのバランスのとれた人材育成

- ① 宗教実践分野では、真宗・仏教の思想についての深い理解に基づいて、人々の苦悩と悲嘆に寄り添う宗教的実践者として、寺院・教団の運営に取り組むことができる人材の養成を目指します。
- ② 社会実践分野では、多様化する現代社会に対応するため、幅広い学際的視野をもった知識を身につけ、自信を持って積極的に社会貢献を果たすことができる宗教者の養成を目指します。

3. 資格取得につながるプログラム

- ① 宗教実践分野では、浄土真宗本願寺派の教師資格課程、布教使課程、学階課程、その他、国際伝道者養成などに関連する各種の講座の履修も可能です。
 - ② 社会実践分野では、臨床宗教師、臨床傾聴士、スピリチュアルケア師などの資格認定のために必要な研修プログラムの受講が可能です。
- その他、教職課程（専修免許状「宗教」）、博物館学芸員課程、図書館司書課程などの資格の取得のための科目の受講も可能です。

POINT

現代社会の諸課題に対して、
宗教はいかにその使命を果たしうるのか。
宗教者としての使命感を持って、
その解決に取り組む熱意を持った人材が
求められています。

実践真宗学研究科では、龍谷大学の建学の精神である親鸞の教えをよりどころにして、世界の人々の苦悩と悲嘆に向き合い、現代社会の諸課題に対して宗教者として応えていく道を探る志願をもった方々に、宗教・宗派の境界を超えて、社会に開かれた実践的研究の場を提供いたします。

実践真宗学研究科は、2009年に、諸科学との学際的かつ総合的・融合的な研究の推進とともに、より実践的な宗教研究を行う研究教育機関として、親鸞の教えを建学の精神とする龍谷大学に、設置されました。本研究科では、仏教の縁起的生命観に基づき、宗教実践と社会実践に関連する多様な学問分野についての理論研究と、受講者に合わせてカスタマイズできる臨床実習のプログラムを統合した研究・教育を進めています。

本研究科は、仏教的人間観・世界観を基盤とした、実践的研究・教育を通して、世界的視野に立って宗教者の相互理解をすすめ、宗教者として、人々の不安に耳を傾け、その人の支えとなり、自らを含めて、さまざまな苦悩を抱えて生きる人々と共に考え、共に生きる力を育むことのできる人材育成に取り組んでいます。

本研究科では、在籍する大学院生の多様性を尊重し、一人ひとりの自由な学問研究と臨床実習を応援します。また研究科の運営にあたっては、社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の理念に基づき、全ての人々を孤独・孤立、排除・摩擦から援護し、社会の構成員として支え合うことを推進できる宗教研究・教育環境のさらなる充実を目指します。



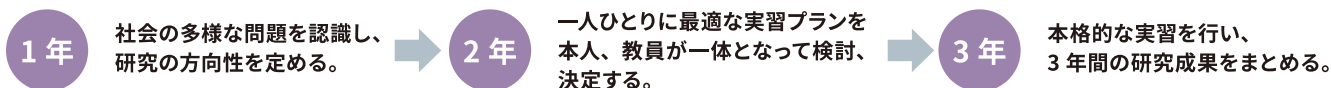
実践真宗学研究科長

那須 英勝 教授

実践真宗学研究科におけるカリキュラム

1 年次には主に研究の基礎となる基礎研究科目を履修します。

2 年次、3 年次には、専門性が高く、実践的な〈宗教実践分野〉、〈社会実践分野〉の研究、実習を行い、それらの集大成として「修士論文または特定の課題についての研究成果」の作成・提出をめざします。



開講講義の紹介

基礎研究科目

〈宗教実践分野〉および〈社会実践分野〉の専門的領域について、視野を広げ、理解を深めます。高度な研究を遂行するための学問的基盤を構築するために「実践真宗学総合演習Ⅰ・Ⅱ」、「実践真宗学研究」、「真宗教義学研究」等を必修科目として設定しています。さらに、選択必修科目群から、各自の問題意識に沿った科目を履修することで、総合的かつ融合的な研究を遂行するための基礎的学修を行います。

授 業 科 目	講 義 題 目	担 当 教 員
実践真宗学研究	実践真宗学の方法と意義	鍋島 直樹
真宗伝道史研究	浄土真宗における伝道の歴史に学ぶ	玉木 興慈
宗教心理学研究	宗教心理の探究と現代日本の宗教	岩田 文昭
現代宗教論研究	宗教間対話における他者理解と自己理解	寺本 知正

宗教実践分野

宗教的実践活動に関する基礎的な理論と方法を学びます。過去の歴史における具体的宗教的実践の形態を研究し、その本質を学ぶとともに、伝道の現場での実習をふまえて、現代の情報化社会に対応するための新しい方法論と実践理論の構築を研究教育内容とします。

授 業 科 目	講 義 題 目	担 当 教 員
宗教実践特殊研究 (E)	現代日本の「宗教」と社会	中平 了悟
真宗人間論研究	仏教・浄土教・真宗の人間観	高田 文英
国際伝道論研究	国際化・グローバル化する現代における伝道論の研究：理論と方法	釋氏 真澄
地域・寺院活動論研究	アクティブ・ラーニングで学ぶ地域・寺院活動	猪瀬 優理

社会実践分野

仏教がもつ縁起的生命観に基づく共生的社会を実現するために、人権・平和・環境など諸問題に関する幅広い教養を修得し、また具体的なビハーラ、カウンセリング、ボランティア、NPO 活動、矯正・保護等の現場実習をふまえた実践理論の構築を研究教育内容とします。

授 業 科 目	講 義 題 目	担 当 教 員
社会実践特殊研究 (A)	臨床現場における宗教者	森田 敬史
臨床宗教教育研究	臨床宗教教育を学ぶ	打本 弘祐
ビハーラ・スピリチュアルケア論研究	ビハーラ活動・臨床宗教者の理念と実際—浄土教の死生観を基盤にして—	鍋島 直樹
生命倫理論研究	生命倫理・医の倫理・宗教と倫理	室寺 義仁

修士論文題目 (例示)

- ・真宗保育の実践に関する研究
- ・自死問題における僧侶の役割
—自死遺族支援を中心に—
- ・寺院活性化についての一考察
—青少年教化の可能性—
- ・患者の意思決定における臨床宗教者の支援の可能性
—真宗僧侶の視点から—
- ・緩和ケアにおける宗教者の役割
—スピリチュアルケアを中心に—
- ・プロジェクトダーナの研究
—寺院における社会的実践の可能性—
- ・真宗における寺院活動の課題と展望
—「寺カフェ」による寺院活性化の考察—
- ・仏教者が果たす役割の一考察
—スポーツ選手のセカンドキャリアに着目して—
- ・改宗者にみる海外真宗伝道の課題及び可能性
- ・目指すべき僧侶像
—ビハーラの視点から—
- ・これからの寺院活動を考える
—新型コロナウイルスによる社会変動を通して—



那須 英勝

専門分野／主な研究テーマ

真宗学／親鸞著作における中古天台聖典解釈学の影響、国際伝道、宗教間対話

主な担当講義
宗教実践演習Ⅲ
宗教実践実習

日本浄土教・浄土真宗について、教義の研鑽とそれを可能にした宗教制度との関係を再検討することから学びを始めましたが、アメリカに20年ありましたので、次第に仏教交渉史や仏典翻訳研究などにも、関心が広がっていきました。現在は、浄土真宗の国際伝道や真宗者の宗教間対話の実践に関わる諸問題を含め、国際的、学際的な視野を持って親鸞思想を学ぶことを志しています。



殿内 恒

専門分野／主な研究テーマ

真宗学／真宗教の教理的研究

主な担当講義
実践真宗学総合演習Ⅰ・Ⅱ
真宗教義学研究

誰一人として取り残さない阿彌陀仏の本願を礎に、現実社会に向かうとする活動、それが浄土真宗に基づく「実践真宗」です。できるかどうかを問うより、自身を支えるその礎を問う中に、それぞれが「実践真宗」を求めていく。この営みに向けた、たゆみなく続けられる学びこそ、実践真宗学の本質でしょう。その礎をおのおの自身に問いながら、ともに「実践真宗」の学びを進めたいと思います。



高田 文英

専門分野／主な研究テーマ

真宗学（浄土教理史）／
とくに平安・鎌倉期の日本浄土教

主な担当講義
宗教実践演習Ⅰ・Ⅱ
真宗人間論研究

私の指導教授であった浅井成海先生は、浄土真宗の信仰はその生き方と決して無関係ではないという立場から、信仰と実践の関係について積極的に論じられた先生でした。また本研究科の運営に長らく尽力された杉岡孝紀先生は、他者論という視点から多様化する現代社会における真宗の実践の論理を考えていかれました。

こうした先輩方が遺された業績に学びつつ、仏教・真宗の教えとはどのようなもので、その教えは現代の社会にいかなる視座を提示するものであるか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



葛野 洋明

専門分野／主な研究テーマ

真宗学／現生正定聚 国内外の伝道について

主な担当講義
実践真宗学総合演習Ⅰ・Ⅱ、宗教実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
宗教実践実習

浄土真宗は阿彌陀如来の本願です。これが布教伝道を初めとする様々な実践の基盤です。

特に課題が顕著な国際伝道の実情などを通して、国内外の伝道布教を研究しています。各自の問題意識から研究課題を明確にし、研究方法や具体的な実習を考案し、学術的水準の高い研究となるように指導しています。多種多様な研究課題の基盤である、真宗学の基礎を明確に研鑽することから始めています。

実践・実習

2つの専門分野で、多面的な専門性と実践



宗教間対話実習

宗教実践



グチコレ
～本音と向き合いグチを言える社会を作りたい～

伝わる

布教伝道実習

聞き

現地視
災害復興支援



「ジッセンジャー」～善悪の対立を超えて認めあう～



海外研修(ハワイ)

在学生からのメッセージ



長尾 菜摘さん

実践真宗学専攻 2 年次生
龍谷大学文学部真宗学科 卒業

LGBTQs 問題との向き合い方を求めて

私は「寺院、そして僧侶がLGBTQs問題にどのように向き合うべきか」を更に探求し、同時に「真宗的他者への理解」を深めたいと考え本研究科に進学しました。

ここでは二つの実践分野を中心に様々な専門分野の先生方とより近い距離で学ぶことができ、自身の関心がある分野はもとより広い視野を持って知識を深めることが可能です。また、本研究科の院生は研究内容がそれぞれ異なりますが、浄土真宗のみ教えを共通の依り処とすることで個々の考えや価値観を多角的な視点で意見し、学びを高めることができるのも魅力の一つだと考えます。講義や実習で出会う様々な縁を通じて気付かせていただいた様々な社会問題や課題に対し、共に取り組んでいきませんか？

重視の3年間

的・重層的な学修を実施し、
力を3年間で磨きます。



築地本願寺訪問実習

社会実践

寄り添う

臨床実習

学ぶ

察実習
ボランティア



東北実習



関上における追悼法要



広島原爆死没者追悼法要

自分にしかできないことを 追求する

私は病院や社会福祉施設などの公共空間で活動を行う宗教者の姿に興味をもち、それを研究と現場実践の両面から追求したいと考え本研究科に進学しました。ここでは、講義などを通してより専門的な学びが深められるとともに、実習では、実際の現場でしか得ることができない感覚を得ることができます。また、フットワーク軽くあらゆる場所に飛び込んでいくことによって、そこでの出会いから新たな可能性を見出していくこともできます。3年間という貴重な研究期間を通して、今しかできないこと、自分にしかできないことを追求し、可能性を広げていくことができるのが本研究科の強みであると感じています。



宇佐美 智瑞さん

実践真宗学研究科 3年次生
龍谷大学文学部真宗学科 卒業

社会実践分野

2024 年度専任教員の紹介



鍋島 直樹

専門分野／主な研究テーマ
真宗学／親鸞の生死観、仏教生命観と生命倫理
主な担当講義
ビハーラ・スピリチュアルケア論研究
実践真宗学研究

愛するものと別れる悲しみ、無念さに向きあえばよいのでしょうか。宗教的実践者の依りどころには、尊卑賢愚に拘わらず、一切衆生が仏に願われているという本願のぬくもりがあります。自他ともに生死を超えて浄土に往生し、必ずまた会えるという救済観があります。無力な自己でも、如来の大悲にいだかれて精一杯できることをしたい。そうした患者の実践をともに学びましょう。



森田 敬史

専門分野／主な研究テーマ
実践宗教学、臨床死生学／仏教者の実践
主な担当講義
臨床宗教師総合実習、実践真宗学総合演習Ⅰ・Ⅱ
社会実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、社会実践実習
社会実践特殊研究

病院や福祉施設などにおいて、普段は宗教的施設での働きがよく知られる宗教者はどのような実践が可能であるかということを研究内容としています。「臨床宗教師」という言葉がにわかに注目されている風潮は、これからの宗教者に対する期待の現れと見ることもできましょう。医療現場において、仏教者として従事していた経験と、「臨床宗教師」研修への関わりから、宗教者の社会実践の可能性を追求していきたいと考えています。



岩井 未来

専門分野／主な研究テーマ
ビハーラ、スピリチュアルケア、グリーフケア、
臨床心理学、臨床死生学
主な担当講義
実践真宗学総合演習Ⅰ・Ⅱ、社会実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、
社会実践実習、社会実践特殊研究

病院でチャプレンとして働いてきました。たくさんの患者さん、ご家族、医療従事者の悩みを聴くだけでなく、深い悩みから自己を振り返り成長していける姿を目の当たりにしてきました。仏教は、すべての苦しみ悩める人のためにあるのではないのでしょうか。現代社会に生きる多種多様な価値観をもつ他者の苦悩に、宗教者はどのように向き合っていけばいいのか、考えています。一緒に真宗の未来を語ってください。



玉木 興慈

専門分野／主な研究テーマ
真宗学／親鸞教義の研究
親鸞思想の現代的意義の解明
主な担当講義
真宗伝道史研究

伝道とは、「宗教的真理を言葉とわざを通して、伝達弘布すること」です。真宗の伝道においては、親鸞聖人が明らかにした宗教的真理とは何か、また、その宗教的真理を親鸞聖人が、誰に、どのように伝達弘布したかが問われなければなりません。伝道学は、語る立場、語られる事柄、聞く立場や時代状況についての検討が不可欠です。
精確な読解力と、素朴な疑問と、瑞々しい感性を総動員して、共に学んでいきましょう。

実践真宗学研究科実習助手



伊藤 顕慈

専門分野／主な研究テーマ
真宗教学史、行信論、教義学

博士論文では近世前中期の真宗行信論について研究しましたが、実践真宗学研究科の院生時代は、浄土真宗のご法義がどのように表現されてきたのか、あるいは一般的な表現文化とどのような関係性を有してきたのかという、伝道学の分野における真宗表現文化、その受容と展開について研究していました。実践真宗学研究科出身という立場から、在院生の研究のサポートをしたいと思っています。

高度な宗教実践・社会実践を身に付ける実習プログラム

布教伝道実習（布教使養成）

実践真宗学研究科は浄土真宗本願寺派の布教使課程に指定されています。所定の講義を履修することで本願寺派の布教使任用申請資格を取得できる、共通2次試験（布教実演試験）を受験することができます。

布教伝道実習では、各地の寺院や社会福祉施設等のご協力を得て、法座・法要における布教実演等の実習を行います。さまざまな法座・法要の現場に身を置くことは、法話実習での経験だけでなく、その寺院等の関係者の志、姿勢、取り組みや工夫をじかに学ぶことができます。「伝道」の現場を、自分自身の肌身において感じ、確かめ、学修するところに大きな意味があります。

布教伝道実習は、布教使を目指す人に限らず、既に布教使である人の自己研鑽、また聴聞実習を通して、布教伝道に関わる総合的な実習として実施することもできます。



研鑽を積んだ上で、全国の協力いただける寺院等の法座・法座で布教伝道実習を行います

臨床宗教師・臨床傾聴士研修

臨床宗教師とは、病院、社会福祉施設、被災地などの公共空間で、心の相談に応じる宗教者を意味し、「チャプレンchaplain」の訳語として故岡部健医師が考案した名称です。臨床宗教師研修は、宗教者として全存在をかけて人々の苦悩や悲嘆に向き合い、そこから感じ取られるケア対象者の宗教性を尊重し、公共空間で実践可能な「宗教的ケア」を学ぶことを目的とします。臨床宗教師研修は、東北大学大学院実践宗教学寄附講座と連携して実施しています。所定の実習・講義を習得することで臨床宗教師研修修了証書が授与されます。

また、2021年度より「宗教者でない」ケア実践者の受け入れをはじめ「臨床傾聴士」の研修もあわせてはじまりました。

臨床宗教師・臨床傾聴士研修の五つの目標

- ①「傾聴」と「スピリチュアルケア」の能力向上
- ②「宗教間対話」「宗教協力」の能力向上
- ③自らの死生観と人生観を養う
- ④宗教者以外の諸機関との連携方法を学ぶ
- ⑤幅広い「宗教的ケア」の提供方法を学ぶ



仙台被災寺院における追悼法要

修了生の活躍



言語の壁を越えて、海外にも日本と同じお念仏を大切にされている方々が沢山いることを知り、自分もその現場に立ちたいという思いから現場に対応できる力を養うことを目的に他大学から実践真宗学研究科に進学しました。

本研究科の特色の1つは3年制の修士課程であることです。1年次に基礎的な理論を学びつつ自身の研究の方向性を定め、2年次にはその方向性に沿って実習プランを経験豊富な教授陣の指導を受けながら決定し、3年次に論文にまとめるというスケジュールで進む本研究科は、やりたい分だけやりたいことができる、まさにオーダーメイドな研究環境でした。

実際に私は浄土真宗伝道の研究として国内の都市開教寺院を対象に調査実習を行うだけでなく、自分の将来的な目標をふまえた上でカナダやハワイの海外開教寺院に実習へ行かせていただきました。そういった実習の縁から現在はカナダにあるトロント仏教会にて駐在勤務しております。

また、研究熱心な仲間と時には朝から晩まで合同研究室で語り合い、また時には大学の外へ出てグチコレやジッセンジャーなどの実践活動を行なった本研究科での日々が今の私の宗教者としての礎を築いたといっても過言ではありません。

3年間という決して短くない日々、宗教実践と社会実践というカリキュラムを通して、布教伝道の実践力を身に付けつつ、社会の諸課題への対応力を養いたいという意欲的な方に本研究科をお勧めしたいと思います。

橋本 顕正さん（2023 年度修了）

カナダ トロント仏教会勤務／浄土真宗本願寺派 布教使／浄土真宗本願寺派 来恩寺衆徒

就職・進学先一例

大阪府庁／福井県庁／岐阜県警／奈良県教育委員会／学校法人京都女子学園／学校法人大谷学園／日伸会ビハラー医療福祉機構あそかビハラー病院／医療法人徳養会 沼口医院／社会福祉法人 清和園／社会福祉法人 本願寺龍谷会ビハラー本願寺／社会福祉法人 慶徳会常清の里／浄土真宗本願寺派宗務所／浄土真宗本願寺派総合研究所／築地本願寺／勤式指導所／中央仏教学院／ドイツ恵光日本文化センター EKÖ-Haus（ドイツ デュッセルドルフ）／龍谷大学大学院文学研究科（博士後期課程）等

学費・諸会費について(2024 年度実績) 2025 年度学費の詳細については、「2025 年度入学試験要項」でご確認ください。

修士課程（通常学費）実践真宗学研究科		入学時納入金(単位:円)			後期(単位:円)		
学 費	入学金	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者	他大学出身者	本学学部出身者	本学研究科の課程出身者	他大学出身者
	授業料	150,000	0	200,000	0	0	0
諸会費※1		445,000	445,000	470,000	445,000	445,000	470,000
合 計		5,500	5,500	20,500	5,500	5,500	5,500
		600,500	450,500	690,500	450,500	450,500	475,500

※1: 本学出身者のうち当該学部・研究科出身者以外の入学生は、学会入会金2,000円を徴収します。校友会費(30,000円)は、他大学出身者のみ修士課程3年次に徴収します。

【単位制学費については、ホームページ等をご参照ください。】

入試日程

入 試 種 別		出願期間(締切日消印有効)	試 験 日	合 格 発 表
推 薦 入 試	自己推薦入試	2024年9月10日(火)～9月20日(金)	2024年10月19日(土)	2024年10月26日(土)
一 般 入 試	一 般 入 試	2025年1月4日(土)～1月17日(金)	2025年2月25日(火)	2025年2月27日(木)
	社 会 人 入 試			

※詳細は「2025年度入学試験要項」でご確認ください。

進学ガイダンス日程

開 催 日 時	場 所
※詳細は、ホームページ等をご確認ください。	龍谷大学大宮学舎・オンライン等

奨学金制度 龍谷大学では、大学院生を対象とした独自の奨学金制度を設け、経済的な側面から大学院での学修をサポートしています。

1. 大学院成績優秀者給付奨学金(自己応募)【本学独自】

学業成績が特に優秀な者で、人物的にも優れた学生に給付します。

金額: 年額150,000円
対象: 修士課程(2年次)・博士後期課程(2・3年次)在籍者
2. 大学院学内進学奨励給付奨学金(予約採用型)【本学独自】

学内進学者のうち学業成績および人物が優秀な者に給付します。

金額: 年額150,000円
対象: 修士課程・博士後期課程入学者
3. 大学院研究活動支援給付奨学金(自己応募)【本学独自】

研究活動を積極的におこなう学生に給付します。

金額: 年額200,000円
対象: 修士課程・博士後期課程在籍者
4. その他の奨学金制度

上記の奨学金制度のほか、様々な奨学金制度を設けています。

① 仏教活動奨学生(自己応募)
原則として300,000円の範囲内

② 親和会海外研修奨学金(自己応募)
・自己研鑽コース 100,000円の範囲内
・研究コース 300,000円の範囲内

③ 慶華奨学金(自己応募)
年額250,000円

④ 家計急変奨学金(自己応募)
300,000円の範囲内

⑤ 災害給付奨学金(自己応募)
被災内容に応じ、年間授業料相当額もしくは、
半期授業料相当額

⑥ 外国人(留学生)特別奨学金(推薦制)
年額576,000円



奨学金授与式

資格取得 実践真宗学研究科では様々な資格取得が可能です。専門性を活かしたキャリア形成をはかることができます。

1. 教職課程

下記に掲げる教科の中学校専修免許状・高等学校専修免許状を取得することが可能です。

中学校専修免許状	高等学校専修免許状
宗 教	宗 教

※専修免許状とは...

修士の学位を有する(もしくは大学院に1年以上在学し、30単位以上修得したもの)とともに一種免許状を現に有し、また、一種免許状を取得するのに必要な全単位を修得していることを前提に授与される、より上級の免許状のことです。
2. 学部科目履修制度利用による諸資格取得

本学文学部で開講している科目を受講し、所定の単位を修得することにより、免許・資格(教職課程・本願寺派教師資格・博物館学芸員課程・図書館司書課程・学校図書館司書教諭など)を取得することが可能です。(原則として有料ですが、一部科目は無料です。)
3. 浄土真宗本願寺派学階課程

学階とは、浄土真宗本願寺派の教学における学位のことを指します。龍谷大学大学院実践真宗学研究科修士課程修了生で、所定の科目の単位を修得し、かつ修士論文を提出した者は、学階「輔教」をうけるための学階試験「予試」及び「本試」の免除資格を得ることができます。
4. 浄土真宗本願寺派布教使課程

実践真宗学研究科は浄土真宗本願寺派の布教使課程に指定されています。指定の講義を履修することで、本願寺派において実施される「共通2次試験(布教実演試験)」を受験することができます、布教使を目指すことができます。

龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、
将来の予測が難しい時代となっています。
いま必要なことは、「学び」を深めること。
「つながり」に目覚めること。
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。
それが、私たちが大切にしている
「自省利他」であり、「まごころ」です。
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、
変革への一歩を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、
より良い社会を構築するために。
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

龍谷大学大学院 実践真宗学研究科

新たな知と価値を創造するために、
「心・知・行動」の拠点として、地域や世界の課題に對峙し、
問い続ける。それが、龍谷大学の研究のあり方です。

これまでの社会のあり方や私たちの行動を省み、
先端的な研究や学際的連携による知の集約のもと、
世界の人人々と協力して困難な課題に立ち向かう。
その姿勢と行動が、未来の可能性を切り拓いていきます。

大宮キャンパス 〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1
Tel 075-343-3317（文学部教務課） let@ad.ryukoku.ac.jp



実践真宗学研究科の HP はコチラから

https://www.ryukoku.ac.jp/faculty/graduate/practical_shin/

■ 入試について

「2025 年度 入学試験要項」をご確認ください。
また、入試結果については入試情報サイトに掲載しております。
<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/>

■ 学費・諸会費について

2025 年度学費・諸会費については、「2025 年度入学試験要項」をご参照ください。

※掲載の学年、所属は取材時のものです。

2024 年 6 月 発行

